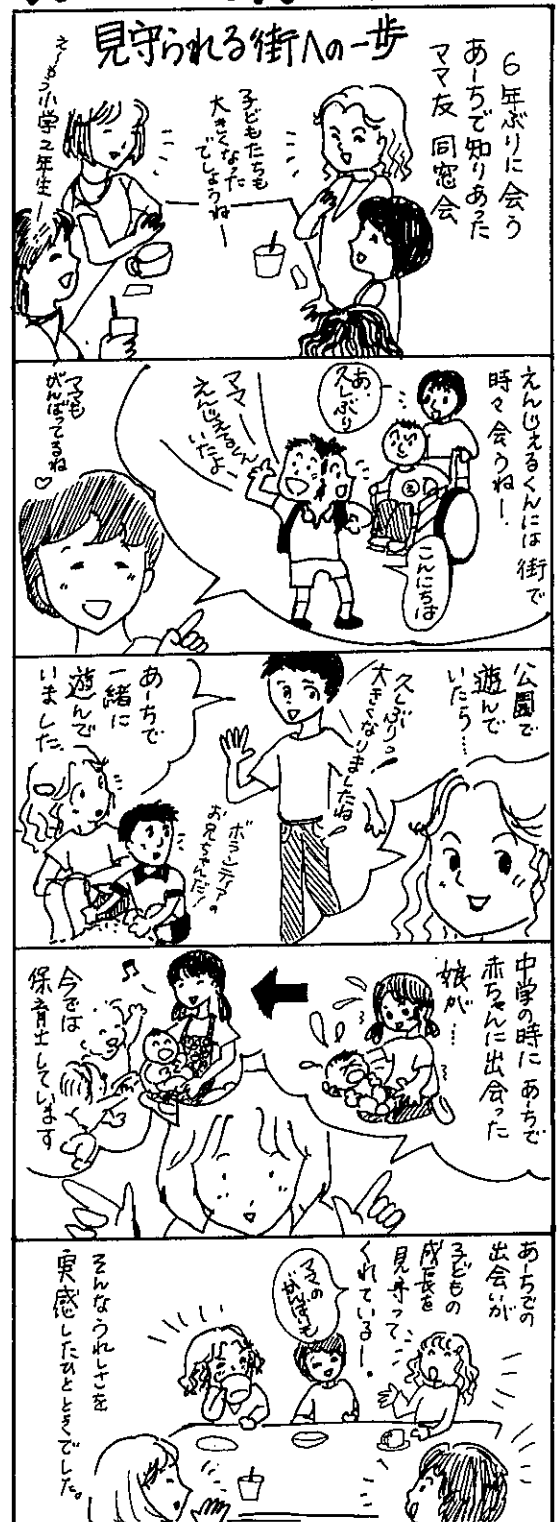


神戸大学大学院サテライト施設
「のびやかスペース あーち」
〒657-0057 神戸市灘区神ノ木通 3-6-18
TEL&FAX 078-805-6090 〔開館：火～土曜日〕
Email arch@h.kobe-u.ac.jp
http://www2.kobe-u.ac.jp/~zda/arch-prep.html

神戸大学大学院人間発達環境学研究科
ヒューマン・コミュニティ創成研究センター
〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 3-11
TEL 078-803-7970 FAX 078-803-7971

えんじえる君 by Bon



「のびやかスペースあーち」設立8周年に寄せて

「あーち」設立8周年、おめでとうございます。
2005年の「あーち」設立時には、評論家の内橋克人さんが
「街に出る大学」と表現して、今後への期待を熱く述べて
下さいました。あれから8年が経ちました。当初には若干
の不安を伴いながらの出発でした。地域の活動に大学が主
体的に参画するのは、はじめてだったためです。しかし、
その不安は思いすごしに終わり、実際には年毎に利用者が
増加し、今では年間3万人に上っています。これも関係す
る皆さま方の努力とご協力のおかげです。「あーち」を模
した近隣の大学も現れ、大学と地域との協働実験は成功し
たと思われます。皆さまへの感謝、社会実験成功へのお祝
い、そしてさらなる発展への期待を心より申し上げます。

神戸大学大学院人間発達環境学研究科・前研究科長
朴木佳緒留

あーち博物館

バビロンの広場にて

あーちに公園が出現！砂場をイメージしたアート空間です。
おとなも子どもも赤ちゃんも、遠い異国の公園で、お砂遊
びを楽しみましょう。

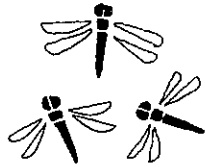
日時：9月28日（土）

10月1日（火）～3日（木）

※最終日は午後3時まで

場所：こらぼ・あーち

版画家の脇谷紘氏、社会福祉法人たんぽぽ、神戸大学発達科学部
学芸員課程学生の共同プログラムです。



9月予定表



		こらぼあーち	あーとあーち	ふらっとあーち
1	日	休 館		
2	月			
3	火		あーち人形劇団「むー」企画会議 1時30分～	おひさまひろばあーち（午前中）
4	水			
5	木	みんなで歌おう 午前中		お口と歯の相談タイム 1時30分～
6	金	居場所づくり2時～6時／指人形づくり（くじらであーと）2時～4時		
7	土			
8	日	休 館		
9	月			
10	火	ピーナッツ（申込制）10時30分～12時		おひさまひろばあーち（午前中）
11	水			
12	木	みんなで歌おう 午前中	筆をもとう 1時～2時30分	
13	金	親子わらべ歌あそび 11時20分～ 居場所づくり 3時～6時		
14	土	0歳児のパパママ交流会（※通年プログラム）／中・高校生の赤ちゃんふれあい	人形劇 2時～3時	
15	日	休 館		
16	月			
17	火		あーち人形劇団「むー」企画会議 1時30分～	おひさまひろばあーち（午前中）
18	水	あーち通信編集会議 1時30分～ あーち連絡協議会 3時～		ベビーマッサージ（はいはい期）11時～
19	木	あーち♥ビギナーズ交流会（予約制） （6か月未満のお子さん）1時30分～3時	めだか親子クラブ 2時30分～	
20	金	居場所づくり 3時～6時	アートセラピー 3時30分～5時	
21	土	ぼっとらっく（予約制）午後		紙芝居 11時～
22	日	休 館		
23	月			
24	火	ピーナッツ（申込制）10時30分～12時 博物館実習（準備）終日		おひさまひろばあーち（午前中）
25	水	博物館実習（準備）終日		おしゃべりほっとタイム 11時～
26	木	博物館実習（準備）終日	筆をもとう 1時～2時30分	ベビーマッサージ（ねんね期）11時～
27	金	博物館実習（準備）終日	居場所づくり 3時～6時 らくがきおばさんがやってきた 3時30～	
28	土	博物館実習（展示）		
29	日	休 館		
30	月			

- ・太字のプログラムは今月の特別プログラムです。
- ・予約制以外の、どのプログラムも参加（見学）することができます。
- ・プログラム参加の年齢制限はありませんが、内容などの詳細は受付までお問合せください。
- ・「ベビーマッサージ」にご参加の方は、バスタオルを1枚お持ちください。
- ・「アートセラピー」「らくがきおばさんがやってきた」は汚れてもいい服装でご参加ください。
- ・「0歳児のパパママ交流会」の本年度参加受付は終了いたしました。（見学可）





～お気軽にお声をかけてください～

<ふらっと相談員>

火曜 午前 保育士
午後 灘区地域活動支援コーディネーター (13:00～15:00)
水曜 午前 NPO 法人マザーズサポーター協会 (第4水)
木曜 午前 灘区地域活動支援コーディネーター
助産師 (月2回)
金曜 全日 発達相談員 (11:00～16:00)
土曜 全日 元母子相談員
午前 助産師 (第2土)
不定期 歯科医師 臨床発達心理士
※詳細は受付へお問い合わせください。

あーちのルール

- ☆オムツやゴミは必ず持ち帰りましょう
- ☆託児の機能はありません
- ☆就学前のお子さんが遊ぶときは、保護者の付添いが必要です

『 あおいとり 』

メーテルリンク・原作
立原 えりか・文 いわさきちひろ・絵
講談社



「ちょっと おたずねしますが」 おたくに あおいとりは いませんか？

腰の曲がった おばあさんに チルチルとミチルは

あおいとり 探しを頼まれ、チルチルは帽子をかぶせられ、

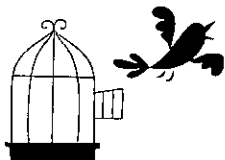
ついているダイヤセオをまゆすと おばあさんは ひかりの精に。

❖ 思い出の国に着くと、なつかしい思い出にふれました。

かずに **あおいとり**。もらって❖思い出の国を出たとたん――

次に探し続けますが… ひかりの精と別れの時間に。

そして チルチルが目覚め 見たのは――



衆家

昨年、図書館で新に入本、にあって

今さらながら…と、息子に見せると

息子「話、知らんよ。」

「そうよね。読んでみる？」

「こんな話なん。」 どうして あの頃

見つけられなかったのかな？ ごめんね。

いじに語りかけられるものが 変わったかもしれないのに。

ごろんごろんで見上げれば

第三話 赤い水着と夏休み

ゆきはな

夏真っ盛りです。少し前まで賑やかだった、アパートの真向かいにある幼稚園がひっそりと静まりかえっています。元気な声は町のあちこちに散らばっているのだろうと思いつつあまりの暑さに外出もできずに娘と二人で日がな過ごしていると、幼かった頃の夏休みを思い出しました。

私はまるで日本昔話に描かれるような山間にある農村で生れ育ちました。若い人たちは近くの町へ働きに行き、お年寄り家族のために畑を耕して野菜を作る、そんな生活をしているところです。今はそこに子どもはいなくなってしまうしましたが、当時はどの学年にも2～3人ずつ子どもがいて皆、だんごになって遊んでいました。私は姉、妹、そして年の離れた弟の4人きょうだいなのですが、夏休みとなれば入れ替わり立ち代わり上3人の友人たちがやってきて朝から晩までまるでお祭りのような賑やかさで過ごしていました。まだ暗いうちから山へ登って虫を探り、太陽が高く上がれば川へ泳ぎに。そして夜になればまた集まって花火をする。日中、母が仕事で家に居らず祖母が私たちの世話をしてくれていたのを良いことにやりたい放題の生活を繰り広げていました。しかし母が休みで一日家にいる日は、こうはいきません。他所の子でも容赦なく叱りとばすようなパワフルな母は、その日ここぞとばかりに張り切って子どもたちの生活指導を始めます。昨日までの自由さが無くなるのがとても嫌で、姉妹間で伝達される「母が休みらしい」という知らせに私たちは小さな肩を落としていました。その一方で母は、子どもたちとの夏休みをととても楽しんでいたように思います。宿題やら手伝いやらの合間に私たちが川へ泳ぎにいこうとしていると、赤い水着を着た母が嬉しそうに列の後からついてきます。子どもに交じってひとしきり泳ぎ、家に帰って大の字になって昼寝をするというのが母のお決まりのコースでした。この時は伸びた背筋も緩まって、母と一緒に廊下でみんなごろごろ。その上を夕風が過ぎていく。きっと母は幼い頃からそうやって夏を過ごしていたのだろうな、今、そんな風に思いました。

やがて、九月が来て「ああ、やっと終わった」という祖母の安堵の声に背中を押されながら学校へ向かう夏の終わりを何度も過ごしていく中で、祖母がいなくなり、私たちは成長しそれぞれ母になりました。私たちの母は5人の孫のおばあちゃんです。孫とも本気でケンカをし、飼い猫に噛まれたり蜂に唇を刺されたりしながら、相変わらずパワフルに暮らしています。この夏の終わりに、私は娘と実家に帰省する予定です。都会生れの娘にとって初めての大自然の中で、その申し子のようなおばあちゃんとしばしの夏休みです。

